



1. 通信インフラの状況

- 7月28日 発災時には、固定インターネット回線や携帯電話等で一部サービスに支障が生じたものの、8月5日までに全て復旧等済※1
- サービス支障エリアでは7月28日～7月31日に非常時事業者間ローミングの発動により、他社回線を通じたサービスを提供

【固定】(※2)

- ✓ NTTドコモビジネス 専用線サービス156回線に支障 ⇒ 8月5日(水)13:30までに復旧済
- ✓ KDDI インターネット11,515回線、専用線サービス71回線に支障 ⇒ 8月3日(月)10:30までに復旧済

【携帯電話等】

- ✓ NTTドコモ 八代市、宇城市の一部エリアに支障、最大4局停波 ⇒ 7月30日(木)17:00までに復旧済
- ✓ KDDI(au) 八代市、人吉市、宇城市、美里町の一部エリアに支障、最大86局停波
⇒ 7月30日(木)19:30までにエリア支障解消
- ✓ ソフトバンク 八代市、菊池市、宇城市、美里町、甲佐町、山都町の一部エリアに支障、最大22局停波
⇒ 7月30日(木)16:00までに復旧済
- ✓ 楽天モバイル 八代市、宇土市、宇城市、美里町、益城町、氷川町の一部エリアに支障、最大56局停波
⇒ 7月30日(木)21:30までにエリア支障解消

※1 エリア支障解消を含む

※2 事業者が把握可能な通信ビルの被害情報を記載

2. リエゾン派遣状況

- 発災直後より九州総合通信局等及び通信事業者から熊本県庁にリエゾンを派遣し通信環境構築支援を継続的に実施

- ✓ 九州総合通信局から、7月28日(火)18時45分以降、熊本県庁へ毎日リエゾンを派遣(1日最大4名体制、8月11日以降は2名体制)
- ✓ 中国、四国、近畿、東海の各総合通信局からも、計7名を九州総合通信局へ応援職員として派遣。県庁でリエゾン業務に従事
- ✓ 四国総合通信局からは、応援職員が、スターリンク2台、ポータブル電源2台、発電機1台を積んだ電源運搬車を九州総合通信局まで運転して搬送
- ✓ NTT西日本、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイルから、熊本県庁にリエゾン派遣(8月9日以降、徐々にオンコール体制に移行)

3. 電波法に基づく臨機の措置

- 航空管制用無線局の設備変更等を臨機の措置により即時許可

【国土交通省航空局】

- ✓ 7月29日(水) 熊本空港の管制塔被災に伴う災害時用可搬型航空局運用に際し、エリア確保のため空中線追加の変更申請 ⇒ 即時許可

【八代広域行政事務組合】

- ✓ 7月31日(金) 八代消防署被災に伴う消防無線用基地局4局の設置場所(通信所の追加)についての
変更申請 ⇒ 即時許可

【神戸市】

- ✓ 8月6日(木) 上下水道事業に資する陸上移動局2局の移動範囲(熊本県内の追加)についての
変更申請 ⇒ 即時許可



令和8年熊本地震への総務省の対応(通信インフラ関係)(2)

4. 災害対応用移動通信機器の貸与状況

- 7月28日(火)発災直後より、被災自治体から庁舎及び避難所等の通信環境確保の要請があり、通信事業者とも連携し、スターリンク、ポータブル電源等の手配・現地への運搬・配備を継続的に実施(スターリンク27台、ポータブル電源23台、簡易無線機8台)
- 8月5日(水)公共安全モバイル端末50台を県庁に搬入

【主な貸与例】

- ✓ 7月28日(火)19時26分熊本県から要請
⇒ 20時56分宇土市役所到着、21時43分スターリンク1台設置完了。22時15分宇城地域振興局到着、23時04分スターリンク1台設置完了。
- ✓ 7月29日(水)8時57分熊本県からスターリンクの貸出要請
⇒ 10時33分九州総合通信局電源運搬車により県庁にスターリンク及びポータブル電源各2台搬入。
- ✓ 7月30日(木)12時52分テレビやつしろから「一部エリアでサービス断。停電に伴うバックアップ運用中に発電機1台が盗難され、電源供給に支障が生じたことが原因」との連絡あり。加えて、13時05分、熊本県からスターリンク(八代市用)の貸出要請。
⇒ 16時37分、17時30分の2回に分けて九州総合通信局が八代総合体育館にスターリンク8台及びポータブル電源6台搬入。
併せて16時57分にテレビやつしろに発電機1台搬入(これにより、テレビやつしろは18時20分に復旧)
- ✓ 7月31日(金)13時28分熊本県から要請
⇒ 14時45分美里町にスターリンク及びポータブル電源各4台搬入。追加要請分のスターリンク及びポータブル電源各2台も17時35分搬入。
- ✓ 8月4日(火)9時19分熊本県から美里町分の簡易無線機の貸出要請
⇒ 11時10分美里町に簡易無線機8台搬入
- ✓ 8月3日(月)21時25分宇城市の避難所(豊野少年自然の家)の通信環境が悪いとの情報有
⇒ 8月4日(火)12時05分スターリンク及びポータブル電源1台を当該避難所に設置完了
- ✓ 8月7日(金)8時57分八代市から要請
⇒ 11時42分、12時15分、18時03分の3回に分けて九州総合通信局が八代市役所にスターリンク及びポータブル電源各8台搬入。
また、熊本県に貸出していたスターリンク及びポータブル電源各2台を併せて八代市へ運搬。

5. 通信事業者との連携・調整

- 携帯電話事業者各社は、被災地域でのデータ無制限モードの提供、自治体等の災害対策機関に対してスターリンク、スマートフォン等の無償貸出(スターリンク80台以上、スマートフォン等1,700台以上)等の支援を実施。
- 避難所支援を迅速かつ効果的に行うため、各事業者が支援を行う担当地域を決めてWi-Fi 機器やモバイルバッテリー等の貸出(Wi-Fi機器約70台、モバイルバッテリー等約1,700台)を実施。
- 「ホテルシップはくおうⅡ」における通信環境(スターリンクによるWi-Fi及び携帯電話事業者各社の移動基地局車による携帯電話サービス)を整備。



令和8年熊本地震への対応状況

～農林水産省からの報告～

【8月15日】

農林水産省 九州農政局 公式 X
[農林水産省 九州農政局 \(@MAFF_KYUSHU\)](#)



農林水産省 農村振興局 Facebook
[農林水産省農村振興局 | Facebook](#)



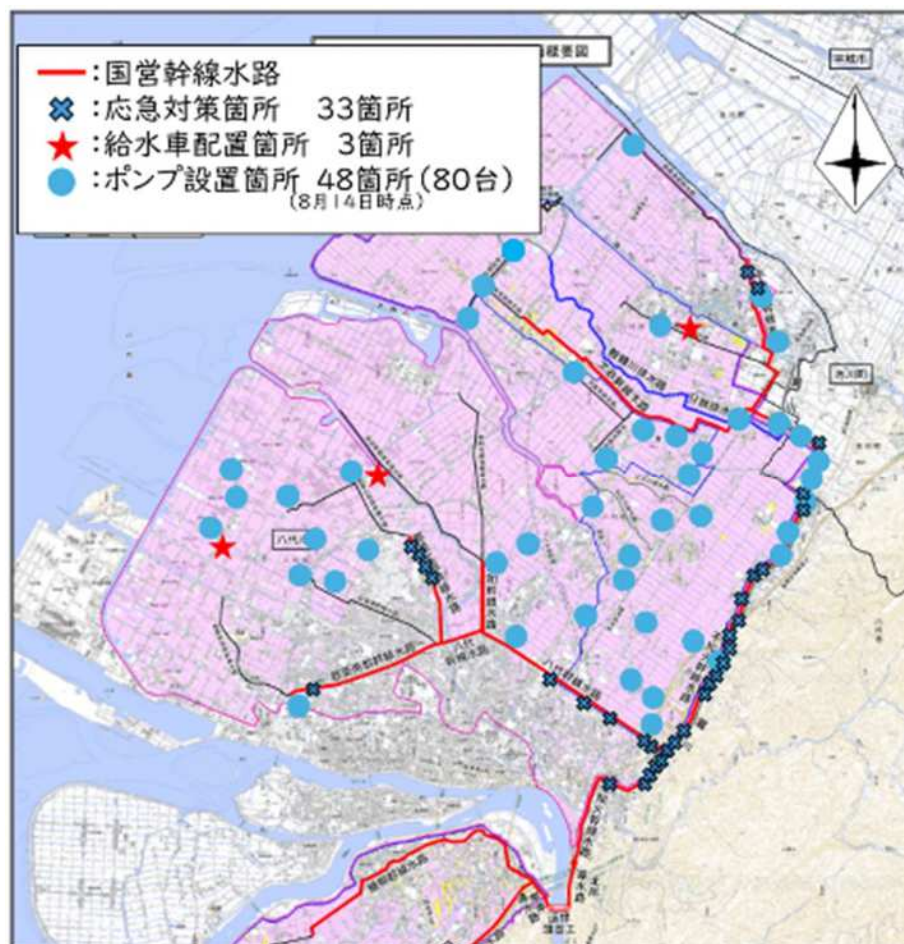
MAFF
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

九州農政局

農林水産省からの報告（8月15日）

農業用水の確保（八代平野地区）

- 球磨川北岸の不知火幹線水路等約27kmの一部において、バイパス管を通す等の応急復旧工事を実施し、発災後8日目から通水試験を行い、8月8日から農地への配水を開始。
- それでもなお、必要な水量には不足することから、更なる措置として、沈下した水路の高さをコンクリートで嵩上げする工事を実施中。
- あわせて、給水車の設置、全国の農政局から持ち込んだポンプによる排水路から用水路へ水の補給、沢水の用水路への引き入れ等を実施。



被災により側壁が沈んだ箇所にバイパス管とコンクリートを施工し、通水を確保しています。



用水路へポンプアップし、排水路の水の再利用に取り組んでいます。



水路に隣接する山の沢水を直接用水路に引き込んでいます。



給水車による農業用水の配水も行っています。

〔 14日昼までに202回
計216トンを配水 〕 農 - 1

農林水産省からの報告（8月15日）

農業用水の確保（氷川大堰掛かり）

- 氷川大堰の水路は堰直下のボックスカルバートが被災し断水したことから、国と県が用意した排水ポンプで農業用水を排水路に落とし、それをポンプアップし農地に入れる等の工夫により暫定用水を確保。
- 昨日(8/14)までに被災した幹線用水路を仮復旧。本日(8/15)午後からブロックごとに充水通水を開始。

氷川大堰掛かり右岸側の用水確保対策について 【令和8年8月14日時点】

凡例（8月14日時点）

- ポンプ等で配水済み
- 新たに配水可能となったエリア
- 緊急用水対策（還元ポンプあり）
- 緊急用水対策（還元ポンプなし）
- 加圧ポンプ
- 還元ポンプ
- 幹線水路
- 排水路
- エンジンポンプ
- 水中ポンプ【県】



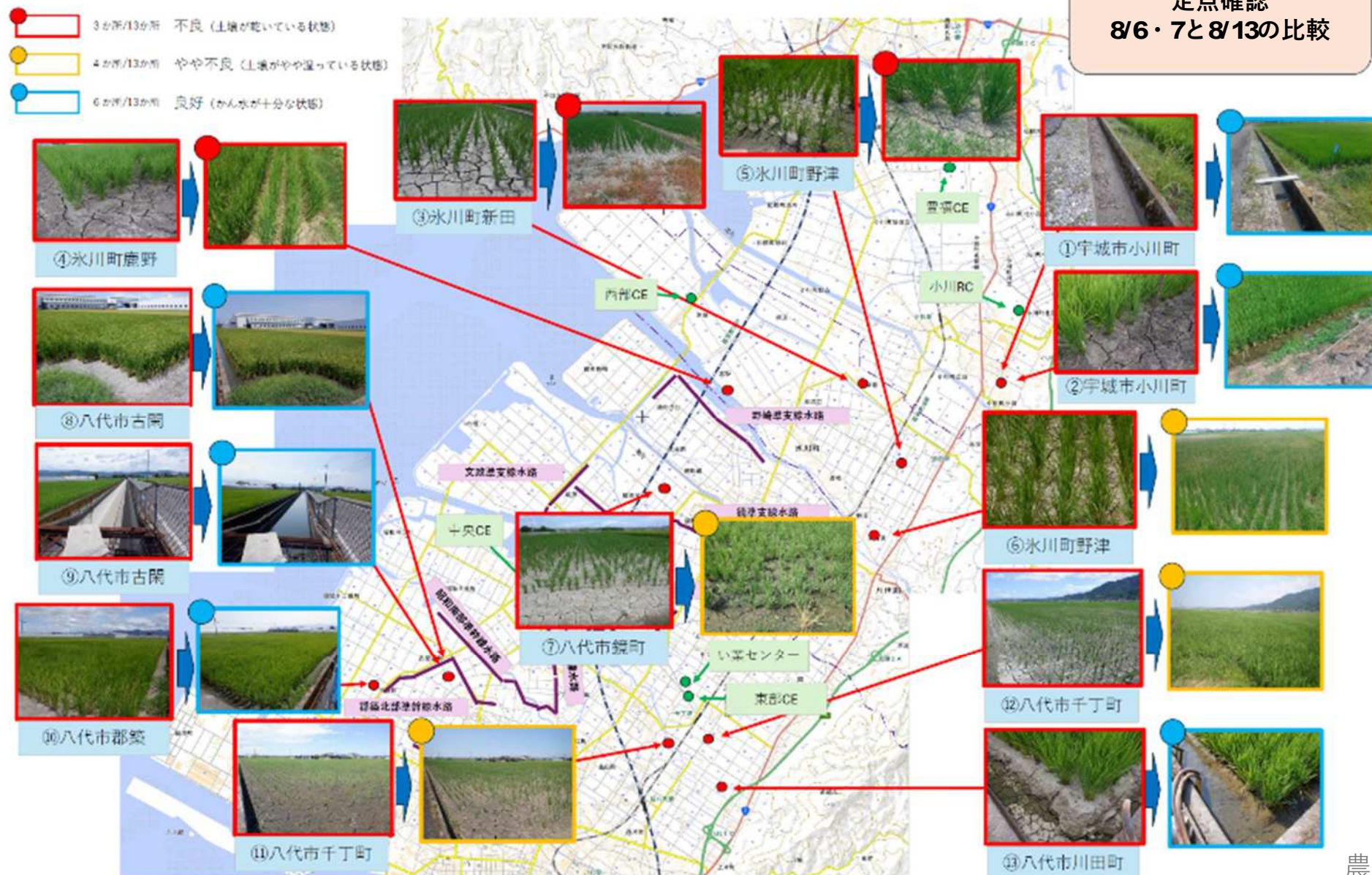
農林水産省からの報告（8月15日）

農業用水の確保（農地の定点観測）

令和8年 熊本地震 被害写真図（氷川町、八代市）

令和8年8月13日時点

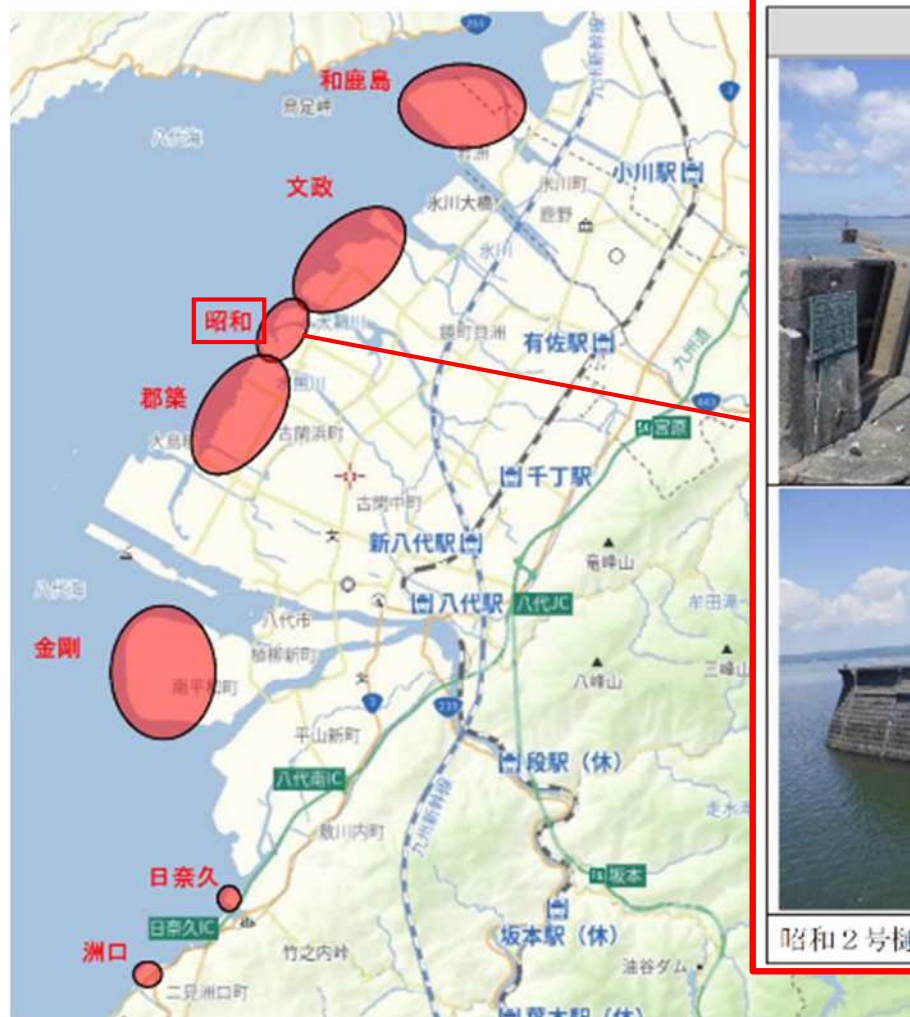
定点確認
8/6・7と8/13の比較



農林水産省からの報告（8月15日）

農地と暮らしを守る海岸保全施設（昭和海岸）

- 堤防天端道路の沈下、波返工の傾き、下部の空洞化を確認。
- 8月1日から道路補修、進入路確保に着手。3日からは空洞調査・UAV 測量を実施し、6日から空洞充填工事を実施しており、応急対策は来週目途で完了することとしています。



農林水産省からの報告（8月15日）

農業用ため池の安全・安心の確保

○ 防災重点農業用ため池について、ため池点検、クラック箇所へのブルーシート設置、水位計の設置等の支援。

■防災重点農業用ため池

熊本県		830か所
点検対象		446か所
	異常なし	390か所
	異常あり	56か所



ため池点検調査支援



水位計の設置支援



ため池被災状況（クラック）



ブルーシート設置支援



排水ポンプ車（農林水産省）による
水位低下を支援

農林水産省からの報告（8月15日）

秋津飯野土地改良区（熊本市）

- 熊本市秋津飯野地区では、パイプラインの被災により13ヘクタールのほ場に配水できない状況が発生。
- MAFF-SATが紹介した査定前着工制度を活用し、土地改良区が応急対策を実施した結果、8月10日に通水可能となった。



施工前（パイプライン漏水箇所）

秋津飯野土地改良区管内被災状況



施工後（破損したパイプラインを修繕）



通水再開により農地に水が届く様子

パイプラインの復旧状況

パイプライン復旧の状況

農林水産省からの報告（8月15日）

- 10年前の熊本地震以来、災害復旧事業の申請実績がなかった嘉島町で災害査定研修会を8月7日に実施。
- 職員が地元関係者に災害査定の基礎知識や被災箇所の確認方法などを指導。今後も自治体からの要請に基づき、同様の研修を積極的に展開。



研修会の様子



現地指導の様子

農林水産省からの報告（8月15日）

MAFF-SAT（農林水産省サポート・アドバイス・チーム）の活動

- 農地・農業用施設に関するMAFF-SATは、全国からの応援を得て延べ1500人・日派遣。
- 全国から集めた排水ポンプ109台、水位計24台などの災害対策機材による支援を実施。

宇城市



氷川町



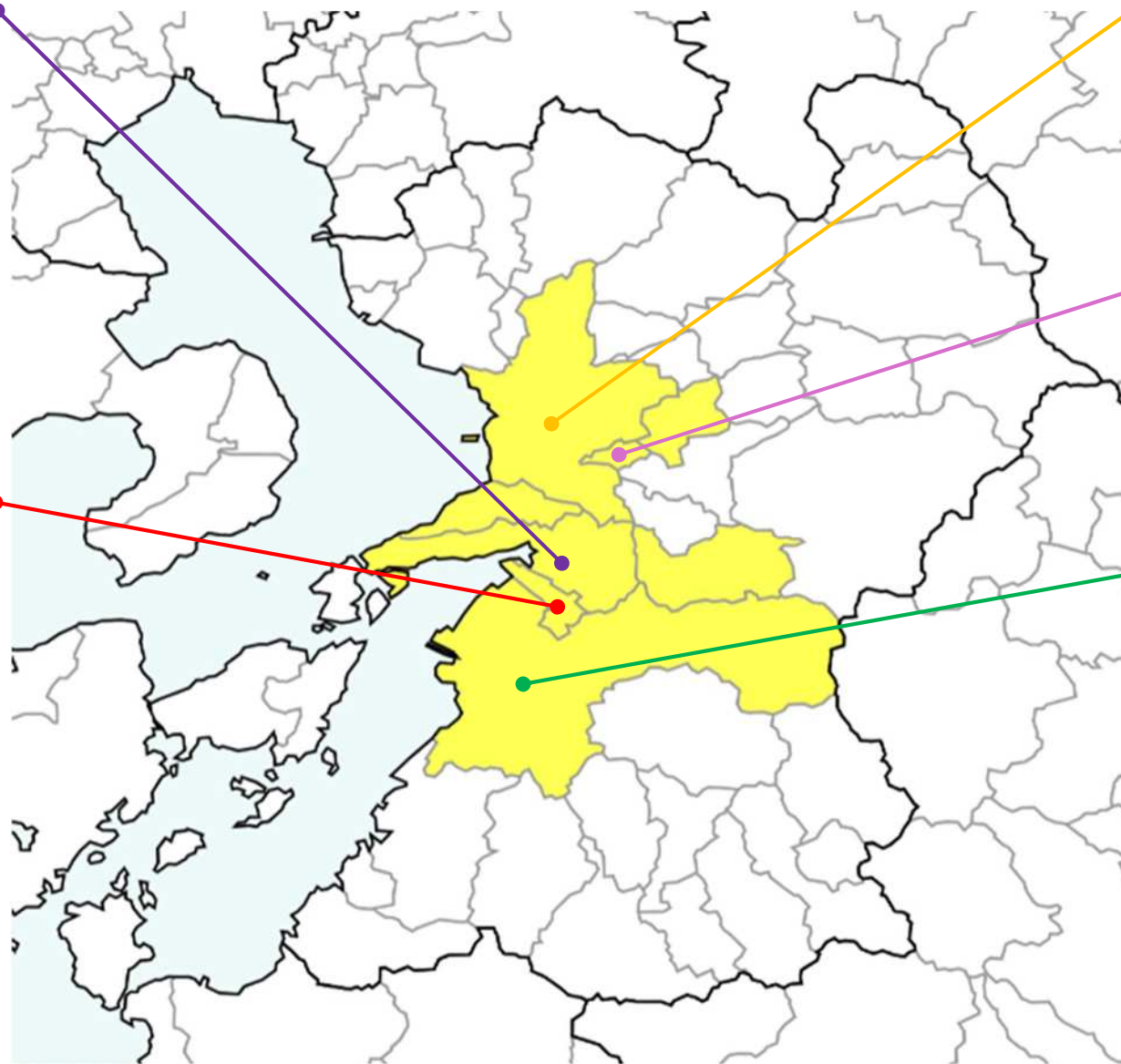
熊本市



嘉島町



八代市



令和8年熊本地震への経済産業省の対応（8月15日（土）時点）

※下線部は前回からの更新箇所

1. エネルギー・インフラの状況

	状況
電力	熊本県で約4.9万戸の停電が発生。高圧線に加え低圧線も停電は復旧済み。 引込線を原因とする停電は、連絡いただき次第、原則当日の解消を目指す。（九州電力送配電が24時間体制の相談窓口を設置。九州電力送配電及び電気工事業者が連携して対応する体制を構築。）相談窓口について、避難所での周知を実施するとともに、順次、状況を確認し各戸に掲示・投函。
発電所	火力発電所※1・原子力発電所※2ともに、運転継続中。 ※1：九電・電源開発保有の発電所、※2：川内①②号機・玄海④号機
都市ガス	八代市 ^{やつしろし} における約8,900戸の供給停止については、家屋倒壊（65戸）を除き全戸で供給再開済。
SS・LP （ガソリンスタンド /LPガス）	営業中68（被害の大きかった八代市 ^{やつしろし} 、宇城市 ^{うきし} 、氷川町 ^{ひかわちやう} のガソリンスタンド73か所の9割超。）残り5か所の復旧見込み：設備復旧が必要となり、数か月以上かかる見通し 上記の他、震度6弱以上を記録した13市町村（熊本市、合志市、上天草市、宇土市等 計250か所）については、営業中249、営業不可1 八代市 ^{やつしろし} のLPガス充てん所の一部設備に損傷あり。LPガス供給には支障なし。

2. 物資支援

- 被害の大きかった八代市^{やつしろし}・宇城市^{うきし}・宇土市^{うとし}・氷川町^{ひかわちやう}で9割以上のコンビニ（99店舗/100店舗）が営業。当該4市町等の被災地域の物量改善に向け、優先的な迂回ルート等をコンビニ各社に伝達し、活用開始。県内全体787店舗中、休業店舗数は、29日（水）：211店舗 ⇒ 15日（土）：3店舗（前日同）。
- 業務用エアコンは14か所要請、うち12か所で設置済、さらに2か所で設置中。循環型シャワー（WOTA）は123台設置済。
仮設・簡易トイレや段ボールベッド、熱中症対策用品、衛生用品、ブルーシート等も順次熊本の物流拠点に到着。大手物流会社による支援は、より細かな配送ニーズに対応するため、各市町の個別手配に移行。

3. 中小企業・小規模事業者への支援

- 災害救助法の適用に伴い資金繰り支援（※）、相談窓口（20か所）設置済。
※①災害復旧貸付等の実施、②セーフティネット保証4号（100%保証）の適用、③既往債務の返済条件緩和等の対応、④小規模企業共済災害貸付の適用
- 中小企業分野の局地激甚災害の指定（熊本県八代市（8/12公表）^{やつしろし}、御船町^{みふねまち}（8/7公表））について局激見込み公表。8/7（金）に1800業界団体及び国・自治体の長に中小受託事業者との取引への配慮要請済。
- 局激指定見込みを踏まえ、「自治体連携型補助金」を通じて熊本県が実施する県内全域の中小・小規模事業者向けの復旧支援事業に、なりわい再建支援補助金と同等の高い補助率の支援が可能。補助対象事業者の範囲や多重被災事業者への支援については関係省庁と検討。
- 局激指定地域では「災害復旧貸付」の金利をさらに引き下げ（1,000万円まで▲0.9%）、「セーフティネット保証4号」とはさらに別枠の100%保証も実施。

4. サプライチェーンの状況

- 一部の半導体関連工場では、設備等の確認・点検のため操業を停止していたが、TSMC熊本や三菱電機、ルネサスなど、稼働を再開している工場も増加。
- 一部の自動車部品工場において、設備等に被害が発生し操業を停止していたが、アイシン九州は8/2から一部部品の生産を再開。
一部の完成車メーカー（OEM）では、部品メーカーの被害状況の確認等を優先し、生産を一部停止（8/8～8/16自動車メーカーはお盆休みのため非稼働）。

※ 15日（土）時点で、経産省本省9名・経産局9名・産業保安監督部2名、合計20名を熊本県庁・市町の現場へ派遣。

国土交通省(現地対策本部)からの報告

■インフラ復旧 OTEC-FORCEの活動

- ・全国から国土交通省TEC—FORCEが集結し、被災状況調査や、給水・トイレ及び電源支援等の災害対策機械による応急対策の技術支援を実施。
- ・令和8年8月15日は、宇城市、氷川町など3市3町において約100人が給水支援などの活動を実施中。
- ・令和8年7月28日の被災直後から、これまで6市4町を中心に、のべ約3,600人・日で活動を展開(リエゾン等含む)

被災状況調査

▼ヘリによる上空からの被災状況調査及び映像の提供



宇城市



宇城市



氷川町

▼岸壁背後の被災状況調査

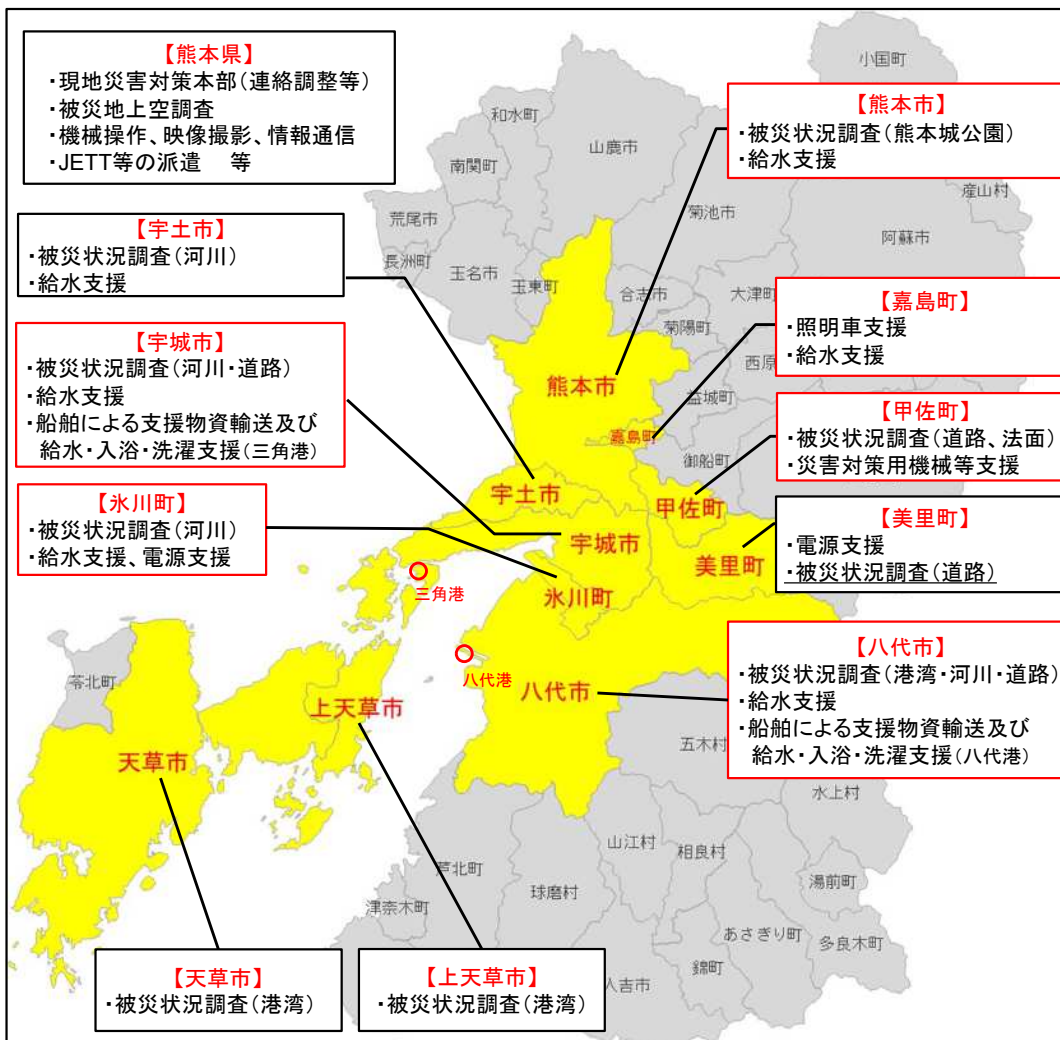


八代港

▼ドローンによる被災状況調査



甲佐町



令和8年8月15日現在:のべ約3,600人・日

被災者支援

▼照明車による人命救助活動の支援



宇城市



宇城市

▼防災用コンテナ型トイレの派遣



宇城市

▼ボランティアセンターへ対策本部車を提供



氷川町

▼電力復旧までの電源支援



氷川町

○インフラ施設の復旧(河川、道路、港湾、上下水道など)

(1)道路

・高速道路

(E3九州道)

- ・7月28日より通行止めとなっていた松橋IC～えびのICについて、8月14日6時から一般車両通行可能となり、これにより九州道全線で一般車両が通行可能。
- ・ただし、宮原SA～八代IC間にある川田橋前後で、対面通行あり(延長1.5km)。

(E3A南九州道) ※NEXCO管理: 八代JCT～日奈久IC、国管理: 日奈久IC～田浦IC

- ・八代JCT～田浦IC間は、一般車両通行不可
 - ・ただし、八代南IC～田浦IC間は、緊急車両のみ通行可能
 - ・また、8月後半には八代南IC～田浦IC間で一般車両の通行が可能となる見込み。
- #### ・直轄国道(直轄高速除く)
- ・被災による通行止め: なし

(2)河川

- ・国管理河川では点検が完了し、3水系 8河川※91箇所です堤防天端のクラックなどの被害を確認。
- ・堤防の沈下や亀裂、はらみ出し等が生じた球磨川の堤防3箇所です緊急災害復旧工事に着手。比較的損傷が軽微な88箇所(白川3箇所、緑川44箇所、球磨川41箇所)も順次応急復旧工事に着手。
- ・8月7日を以て、対象全91箇所について、応急復旧完了。

(3)港湾

- ・八代港では、地震動による岸壁の変位及び液状化による噴砂や、沈下等が発生。
- ・耐震強化岸壁については7月29日に応急復旧を行い、コンテナ岸壁は7月30日に港湾空港技術研究所等の調査官の助言を得て利用可能と判断。その後も現地調査結果を踏まえた利用可否判断を順次行い、現在、八代港外港地区は5バース、内港地区は4バースの利用が可能。
- ・各利用可能な岸壁に、海上保安庁や海上自衛隊、港湾局等の船舶が支援物資の輸送、給水、入浴等の支援を実施。8月12日からは、外港地区の穀物バースにおいて、穀物運搬船の利用を再開。
- ・八代港の港湾機能の早期復旧に向けて、8月12日に有識者や関係団体等で構成する「八代港被災施設復旧技術検討委員会」を設置。

国土交通省(現地対策本部)からの報告

○インフラ施設の復旧(河川、道路、港湾、上下水道など)

(4)上下水道

・8月末の断水解消に向け、上下水道の応急復旧に全力で取り組む。

・毎日10時時点で応急復旧状況を更新(国交省HP)

※避難所、医療機関、福祉施設等の重要施設につながる管路については、上下水道一体で優先的に復旧を図る

水道

・発災後、最大約108,000戸が断水する状況。

・国土交通省及び日本水道協会より水道技術者を全国から派遣し、点検・応急復旧作業を実施中。

8/15 7:30時点、断水戸数は約27,400戸

(八代市、宇城市、氷川町)

・今後の復旧の見込みは以下の通り

※記載地域以外の断水は解消。

市町村	地区	断水解消見込み※
八代市	旧八代市地区	8月末
	鏡町・千丁町	8月末
宇城市	小川地区	8月末
	豊野地区	8月末
氷川町	迫地区・中大野地区・本山地区・原田地区・桜ヶ丘地区・立神地区	解消
	その他の地区	8月末

下水道

・応急復旧支援が必要な4自治体(八代市、宇土市、宇城市、氷川町)に対して、国土交通省、全国の自治体※、日本下水道事業団、(公社)日本下水道管路管理業協会等より下水道技術者を派遣し、点検・応急復旧作業を実施してきたところ。

・応急復旧調査は約282kmの管路を対象に実施し、さらに、応急復旧が必要な8箇所について、8/13に全ての作業を完了。

※日本下水道協会の全国の相互支援ルールに基づき派遣

市町村	地区	作業完了
宇城市	旧小川町	完了
氷川町	旧竜北町	完了
	旧宮原町	完了

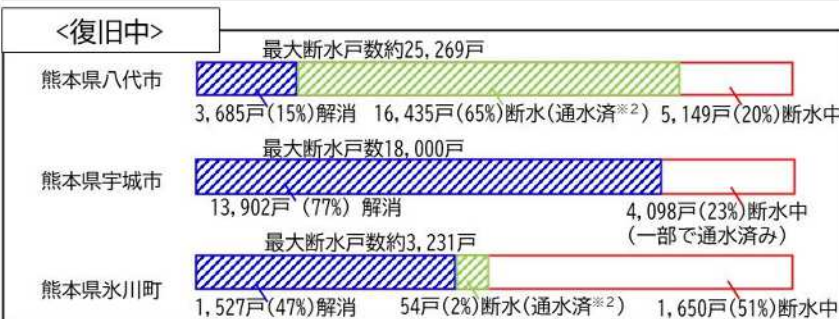
※八代市、宇城市、氷川町の断水地区のうち約16,500戸は通水済みであるが、漏水調査に必要な水量・水圧の確保のため、使用自粛を要請中

水道施設の復旧状況について

国土交通省

令和8年8月15日
7:30時点

熊本県の3自治体において約27,400戸が断水中、そのうち約16,500戸は通水済み（漏水調査に必要な水量・水圧確保のため使用自粛を要請中）



<凡例>断水解消※1 断水(通水済※2) 断水中

※1 修繕等により水道本管まで通水可能になること

※2 通水済だが、漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中

○道路交通マネジメント

- ・ 災害発生時における道路交通の確保と円滑な交通マネジメントの実現のため、関係機関が連携し九州地方整備局が中心となり「熊本県災害時交通マネジメント検討会(令和8年熊本地震)」の第5回会合を8月14日に開催し、九州道の一般車両開放後や、その後の段階的な通行止め解除に伴う交通状況の変化を踏まえた柔軟な迂回案内などを関係者間で連携しながら検討することを確認。
- ・ 8月3日午前7時までに八代鏡宇土線(県道14号)の倒壊建築物の撤去が完了し、同時に国道3号(宇城・八代地域)の迂回路として、交通集中の分散を実施。(迂回路看板により誘導)
- ・ 8月8日朝、国道3号(氷川町大野～八代市岡町中)で8月4日から実施していた『ピンポイント路面改善作戦』が完了。
- ・ また、8月15日朝には、追加12箇所(宇城市松橋町久具～八代市高下西町)の『ピンポイント路面改善作戦《第2弾》』も完了し、国道3号の走行性が改善。
- ・ 道路の復旧見通しに関する現地PR(道路復旧見える化プロジェクト)看板を21箇所67枚設置。
- ・ 渋滞対策として、引き続き、道路規制情報、渋滞情報等について、道路情報板、各機関HP、SNS等により提供。特に、八代市周辺の交通状況については以下のHPで毎日更新。



(国土交通省道路局HP) https://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000201.html

国土交通省(現地対策本部)からの報告

令和8年熊本地震による八代市付近の被災状況(高速道路) 8/15 06:00時点

【道路復旧状況(高速道路)】

- ・発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約121kmを規制解除し、約14kmにおいて救急車や給水車などの緊急車両の通行を確保
- ・8月11日9時に九州道 八代ICから坂本PA間で緊急車両の通行を確保し、これにより九州道全線が緊急車両が通行可
- ・8月14日6時に、一部対面通行(川田橋付近)となるが九州道全線(松橋ICからえびのIC)で一般車両も通行可(九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保)
- ・8月後半までに、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両の通行可能予定(南九州道による八代へのアクセスルートが確保)
- ・九州道と南九州道とを連絡する八代JCTから八代南IC間の復旧方法について、NEXCO西日本が有識者委員会を設置し、8月6日に第1回検討委員会を開催し、検討に着手
- ・お盆期間の東九州道への広域迂回を呼び掛けるとともに、料金調整を8月7日から開始

○南九州道 妙見第一橋④ 段差大



国道3号渋滞対策・路面修繕 8/15(土)時点

- ①路面修繕：主要3箇所完了、その他12箇所完了(8/15朝完了)
- ②青信号の調整：4箇所(2箇所完了、2箇所試行運用中(8/7~))
- ③交差点改良：大野交差点右折レーン延伸完了(8/7朝完了)
- ④横江大橋の8月中旬一般開放後に、県道338号を迂回ルートに設定予定
- ⑤道路の復旧見通しに関する現地PR(道路復旧見える化プロジェクト)看板21箇所67枚設置(8/15現在)



凡例	国道3号	迂回路(県道14号、42号、181号等)	迂回路設定予定(県道338号)
	主要3箇所ピンポイント路面修繕工事	路面修繕追加箇所	青信号時間調整箇所
			交差点改良箇所

■被災者支援

○応急給水

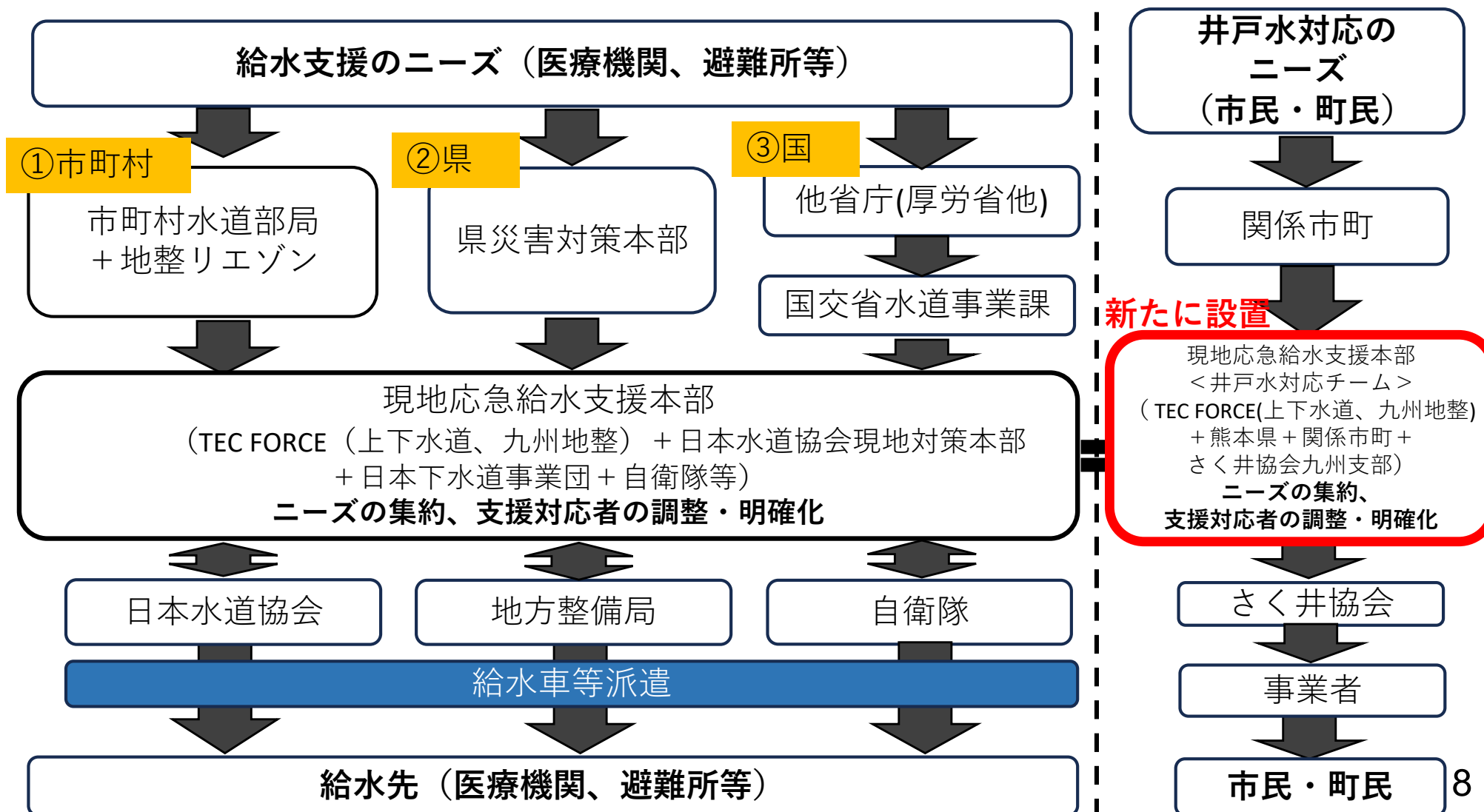
- ・「現地応急給水支援本部」において、国土交通省の現地派遣職員が日本水道協会と連携し、自衛隊等による給水活動とも調整しながら、避難所・医療機関・福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を実施
- ・給水車 合計147台(国 18台、日本水道協会 120台、自衛隊 9台)
- ・水資源機構が保有する可搬式浄水装置を設置し、氷川町において8/9より入浴施設への給水に活用



- ・水道が通っておらず井戸水で生活されていて、井戸が被災した方々を支援するため、現地応急給水支援本部の下に、11日「井戸水対応チーム」を新たに設置し、井戸水洗浄等のための業者派遣やニーズ調査の調整

井戸水対応チームの設置について

- 水道が通っておらず井戸水で生活されていて、井戸が被災した方々を支援するため、現地応急給水支援本部の下に、8月11日「井戸水対応チーム」を新たに設置し、井戸水洗浄等のための業者派遣を調整。



- 被害状況や住民意向等のアンケート調査に先立ち、八代市内の水道事業の給水区域外でもおもに井戸水を利用している6つの地域（校区）において、8月13日、14日に校区長を対象にアンケートの内容や配布方法について国、県、市とともに説明会を実施。
- 8月15日より、町内会長を通じ、洗浄作業への意向調査等を実施するためのアンケートの配布を開始。



■被災者支援

○船舶等による直接的な給水スポットとしての活動

- ・地方整備局・海上保安庁の船舶による給水・入浴支援の場所・時間等が一目で分かるよう、SNSを活用した情報発信を実施中(毎日更新)。
- ・八代港において、昨日8/14(金)までに約611トン、本日8/15(土)に約4.87トン(12:00時点)の給水支援を実施。
- ・三角港において、昨日8/14(金)までに約371トン、本日8/15(土)に約0.14トンを給水(12:00時点)の給水支援を実施。

○入浴支援

- ・八代港において、8/1(土)から計2,359名への入浴支援を実施。
- ・三角港において、7/30(木)から計699名への入浴支援を実施。



給水支援の様子

(調査観測兼清掃船「海輝」・「海煌」、八代港)



入浴支援の様子

(巡視船「いわみ」、三角港)



■被災者支援

○緊急物資輸送

2次輸送(県→市町村の拠点輸送)は県トラック協会が輸送を手配中。3次輸送(市町村→避難所等)については各自治体が運送事業者のサポートも得ながら対応中。

○緊急物資輸送(雨漏り対策支援)

(一社)日本建設業連合会等を通じて、土嚢袋約20万袋を配布済(宇土市・美里町・菊陽町・山都町・八代市・氷川町・上天草市)。

あわせて、ブルーシートについては九州地方整備局と日本建設業連合会九州支社との災害協定に基づき、県・各市町へ累計約19,000枚を配布。



宇城市ブルーシート配送完了(R8.8.5)



宇土市ブルーシート配布状況

○住宅

・(独)都市再生機構において、被災者向けの住宅提供として、UR賃貸住宅を全国で140戸確保。8月7日より受付開始。

・被災者の住まいの確保に関する情報をとりまとめ、8月7日より国土交通省HPに掲載

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000188.html

(公営住宅等の提供、賃貸型応急住宅の提供、(独)住宅金融支援機構による災害復興住宅融資等、被災住宅の補修等に関する相談窓口、住宅リフォーム事業者等に関する情報)

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

令和8年熊本地震に係る災害派遣について（令和8年8月14日活動実績）

令和8年8月15日
防 衛 省

概 要

- 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。
- 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。
- 昨日（14日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約5,100名態勢で活動。

昨日 （14日） の 自衛隊の 主な活動

【主な活動部隊等】

陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）、陸自第4後方支援連隊（福岡・福岡）、陸自第8特殊武器防護隊（北熊本・熊本）、陸自西部方面後方支援隊（目達原・佐賀）、海自艦艇2隻（げんかい、うらが）、空自第5航空団（新田原・宮崎）、空自西部航空施設隊（芦屋・福岡）、空自西部航空警戒管制団（高畑山・宮崎）等

【給水支援活動】

- 八代市及び宇城市の2市3箇所において、給水車4両により、引き続き給水支援活動を実施。

【入浴支援】

＜熊本市（1箇所）＞

- 陸自第8後方支援連隊
・ 火の君文化センターにて陸自がシャワーによる入浴支援を、午後6時から午後10時まで実施。

＜宇城市（2箇所）＞

- 海自多用途支援艦「げんかい」
・ 三角港に停泊中の「げんかい」内にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後3時から午後10時まで実施。「げんかい」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。
- 陸自第8後方支援連隊、第4後方支援連隊
・ 小川防災拠点センターにて、シャワーによる入浴支援を、午後4時から午後11時まで実施。（午後4時から午後5時までは要介護者の専用の入浴時間。）

＜八代市（2箇所 ※「はくおうⅡ」含む）＞

- 海自掃海母艦「うらが」、海自佐世保入浴支援隊、横須賀入浴支援隊
・ 八代港に停泊中の「うらが」内及び八代岸壁にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後3時から午後10時まで実施。「うらが」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。キッズスペース設置済み。

＜氷川町（1箇所）＞

- 空自第5航空団、空自西部航空施設隊等
・ 氷川中学校にて、水再生型シャワーによる入浴支援を、午後2時から午後10時まで実施。

＜宇土市（1箇所）＞

- 陸自第8後方支援連隊、西部方面後方支援隊
・ 宇土アリーナにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後10時まで実施。

【PFI船舶「はくおうⅡ」による生活支援】

- PFI船舶「はくおうⅡ」、PFI船舶支援隊（県庁で連絡員として勤務）
・ 八代港に停泊している「はくおうⅡ」内で、入浴支援等の提供を正午から午後2時まで実施。
・ 八代港に停泊している「はくおうⅡ」内で、2泊3日の宿泊支援及び食事支援の提供を13時以降実施。

【連絡員の派遣状況】

- 熊本県庁等に、最大3箇所・延べ約14名派遣。

活動の様子（8月14日）



【宇土市】陸自による入浴支援の準備の様子



【八代市】陸自による給水支援 ※8/6撮影



【八代市】「はくおうⅡ」の船内の様子



【宇城市】陸自による入浴支援



【宇城市】「げんかい」での入浴支援の様子 ※8/13撮影



【熊本市】空調服を着用して活動する隊員 ※8/12撮影